

たかしん上半期ディスクロージャー誌

たかしんレポート

2020年4月1日～2020年9月30日



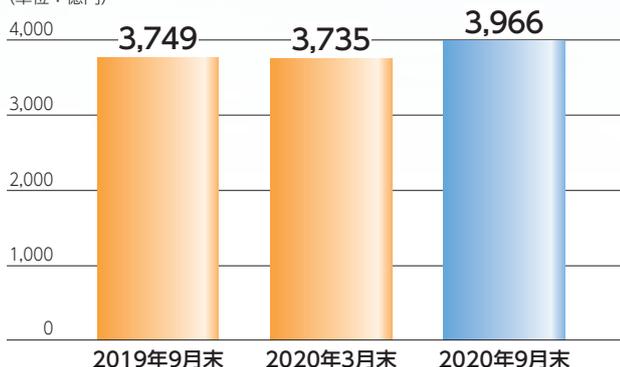
2020年度上半期(2020年4月1日~2020年9月30日)の主な経営情報をお知らせします。

預金積金の状況について

2020年9月末の預金積金残高については、3,966億円と前期末に比べ231億円増加しました。

●預金積金残高の推移

(単位：億円)



(単位：百万円)

項目	2019年9月末	2020年3月末	2020年9月末
預金積金	374,938	373,553	396,645

貸出金の状況について

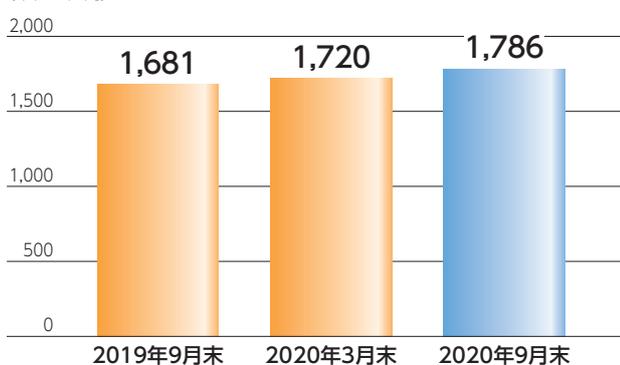
2020年9月末の貸出金残高については、金融・保険業及び建設業向け融資が伸びたことから、1,786億円と前期末に比べ65億円増加しました。

(単位：百万円)

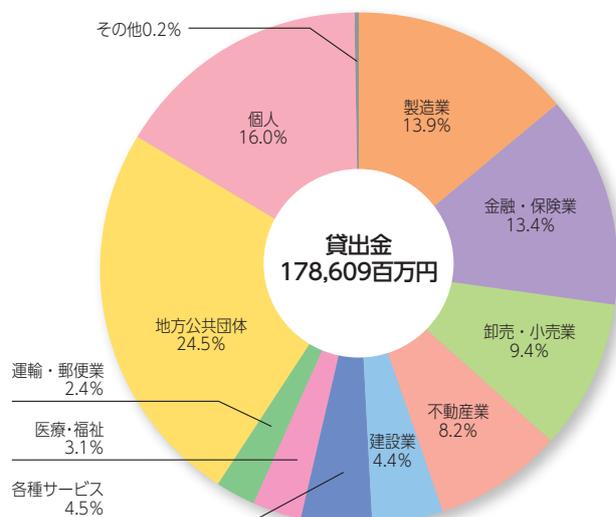
項目	2019年9月末	2020年3月末	2020年9月末
貸出金	168,165	172,060	178,609

●貸出金残高の推移

(単位：億円)



●貸出金業種別構成比(2020年9月末)



収益の状況について

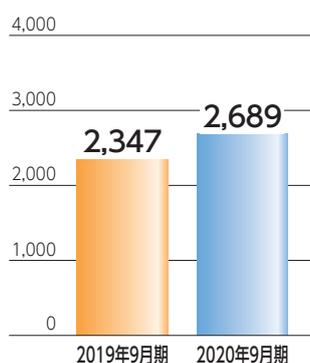
株式等売却益の増加を主因に、経常収益は前年同期比342百万円増加し、また有価証券利息配当金の増加や経費の減少などにより、本業のもうけを示すコア業務純益は238百万円増益の538百万円となりました。一方、当期純利益は5百万円減少し、417百万円となりました。

(単位：百万円)

項目	2019年9月期	2020年9月期
経常収益	2,347	2,689
コア業務純益	300	538
経常利益	427	442
当期純利益	423	417

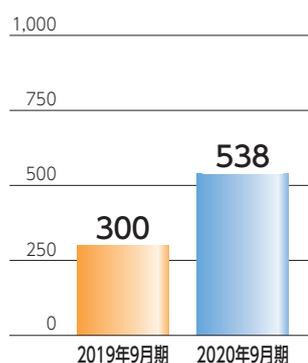
●経常収益の推移

(単位：百万円)



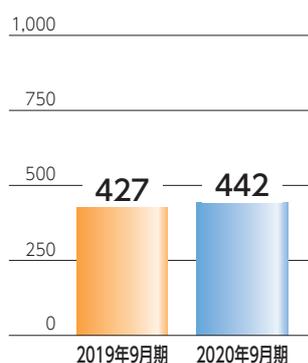
●コア業務純益の推移

(単位：百万円)



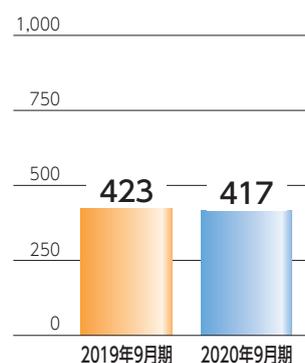
●経常利益の推移

(単位：百万円)



●当期純利益の推移

(単位：百万円)



有価証券の評価損益について

地域の皆さまからお預かりした預金積金は、貸出金や金融機関預け金のほか有価証券で運用しております。評価損益は、株式市場の上昇と海外金利の低下により前期末比1,222百万円増加し、4,258百万円の評価益となりました。

(単位：百万円)

	2020年3月末				2020年9月末			
	残高	評価益	評価損	評価損益	残高	評価益	評価損	評価損益
満期保有目的	3,050	56	2	53	4,050	48	1	47
子会社・関係会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	154,760	4,469	1,487	2,982	156,572	5,313	1,102	4,211
株式	480	144	3	140	478	145	6	139
債券	94,805	609	483	125	91,954	597	494	102
その他	59,475	3,716	1,000	2,715	64,138	4,570	601	3,969
合計	157,810	4,525	1,490	3,035	160,622	5,362	1,103	4,258

(注) ●残高は、各末日における市場価格等の時価に基づいております。

●「評価益」「評価損」は、それぞれ「評価損益」の内訳です。

不良債権の状況について

2020年9月末時点で厳格に資産査定した結果、貸出金や債務保証見返などに対する金融再生法ベースの不良債権額は9,470百万円となりました。

●金融再生法開示債権及び同債権に対する引当・保全状況

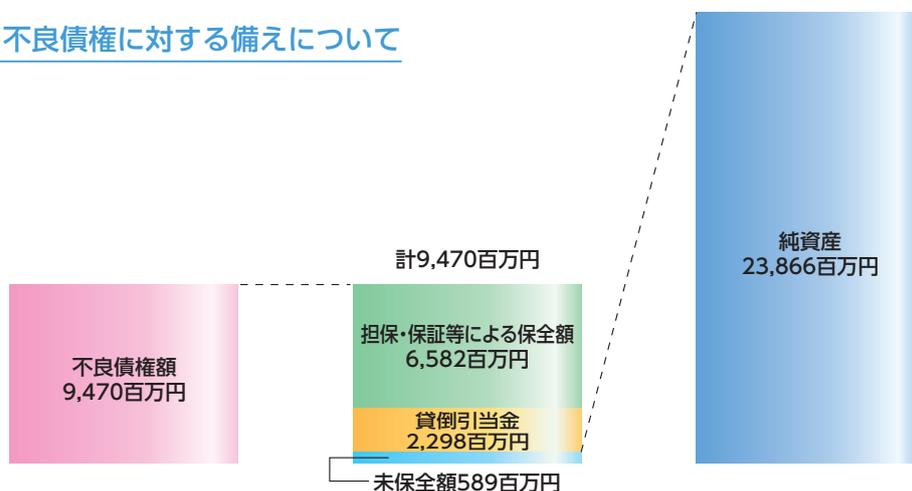
(単位：百万円)

区 分	2020年3月末	2020年9月末					
	開示残高	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等 による回収 見込額(c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b/a)	引当金 (d/(a-c))
金融再生法上の 不良債権(A)	9,279	9,470	8,881	6,582	2,298	93.77%	79.58%
破産更生債権及び これらに準ずる債権	1,660	2,128	2,128	1,512	616	100.00%	100.00%
危険債権	7,179	6,876	6,561	4,895	1,665	95.41%	84.07%
要管理債権	439	466	192	174	17	41.20%	5.98%
正常債権	164,115	170,347	(注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。 2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。 3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。 4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。				
合 計(B)	173,394	179,818					
不良債権比率 (A/B×100)	5.35%	5.26%					

不良債権に対する備えについて

金融再生法ベースの不良債権額は9,470百万円ですが、担保・保証等及び貸倒引当金計8,881百万円により保全され、保全率は93.77%と高水準となっております。未保全額は589百万円となりますが、これに対して純資産の総額は、23,866百万円あり、不良債権に対する備えは万全です。

●金融再生法に基づく不良債権に対する備えについて



自己資本比率について

自己資本比率は2020年3月末比0.01ポイント低下し、11.93%となりました。なお、この比率は、国内基準に適用される4%を大きく上回っております。

●自己資本比率の状況

(単位：%)

決算期	自己資本比率
2020年3月末	11.94
2020年9月末	11.93

●自己資本比率の内訳

(単位：百万円)

項目	2020年3月末	2020年9月末
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	20,282	20,771
コア資本に係る調整項目の額 (B)	65	51
自己資本の額 (C) = (A) - (B)	20,217	20,720
リスク・アセット等の額の合計額 (D)	169,278	173,677
自己資本比率 (C) / (D)	11.94%	11.93%

コア資本に係る基礎項目とは自己資本の中の出資金、利益剰余金等をいいます。リスク・アセットとは、リスクに応じた掛目を乗じた後の資産をいいます。

トピックス 2020年

独立行政法人 中小企業基盤整備機構より「功労者感謝状」が贈呈されました

2020年8月3日(月) 独立行政法人 中小企業基盤整備機構北陸本部の高橋本部長より、当金庫の中小企業・小規模事業者の活躍及び地域の発展にかかる取組に対して、吉岡理事長へ「功労者感謝状」が贈呈されました。

また、吉岡理事長は、中小企業・小規模事業者を支援する「中小企業応援士」に委嘱されました。



「たかしんおもしろ年金セミナー」を開催

2020年9月5日(土)、当金庫本店大会議室にて社会保険労務士の原令子先生を講師に迎え、「たかしんおもしろ年金セミナー」を開催いたしました。

たかしん おもしろ年金セミナー

～老後を守るための年金基礎知識～

日時 令和2年9月5日(土) 開始/午後9:30～
年金セミナー/午後10:00～12:00

場所 高岡信用金庫 本店大会議室 高岡市山内08 ☎0766-22-2425

定員 先着30名様

お申込 下記申込書にご記入の上、担当窓口にお渡し下さい。

締切日 令和2年8月21日(金)

申込書

氏名	〒	〒	〒
性別	〒	〒	〒
性別	〒	〒	〒
性別	〒	〒	〒

高岡信用金庫

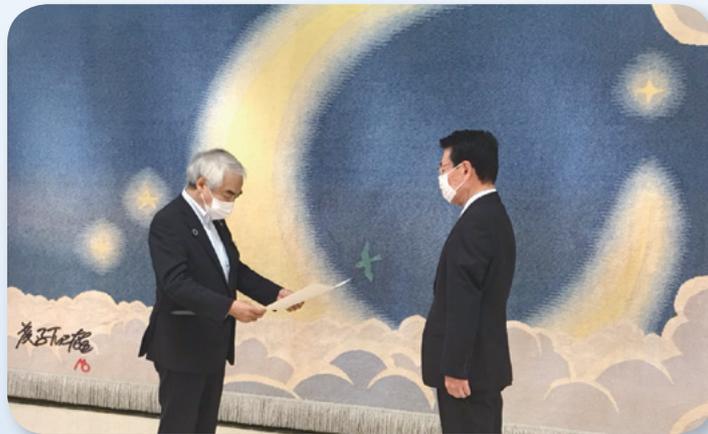
講師 社会保険労務士 原 令子 先生

藤子・F・不二雄氏のデザイン画を元に作成した「緞帳」の移設に事業協力いたしました

高岡地域地場産業センターの移転に伴い、同センターの「緞帳」が御旅屋セリオ3階の「オタヤ子ども広場」に飾られることになりました。

2020年9月30日(水)に当金庫が緞帳移設に役立てていただくために行った寄附金の贈呈式が開催されました。

この緞帳は、高岡市出身の藤子・F・不二雄氏のデザイン画を元に作成したもので、当金庫が昭和58年に高岡地域地場産業センター開館の際に寄贈したものです。



「地域産業の振興及び地域課題の解決に関する覚書」を締結

2020年10月2日(金)「よい仕事おこしフェア」実行委員の当金庫と「よい仕事おこしフェア」実行委員会事務局の城南信用金庫様(東京都 川本恭治理事長)が高岡市様(高橋正樹市長)と「地域産業の振興及び地域課題の解決に関する覚書」を締結いたしました。



(左より当金庫 吉岡理事長、高岡市 高橋市長、城南信用金庫 川本理事長)

